

「はまかぜ」(金沢版)

平成 29 年 6 月 9 日号

連載 第90回

横浜市会議員 おばた正雄氏 横浜を語る



感謝の心で金沢づくり
横浜から日本を創る!
市会議員
おばた正雄

〈プロフィール〉

昭和54年より横浜市議員。10期。

〈ご相談・ご連絡先〉

事務所:金沢区谷津町332

TEL: 045-783-7869

FAX: 045-786-5315

obatamasao17@gmail.com

弾道ミサイル落下時の行動について「Jアラート」の活用を 速やかな避難行動を！ 横浜市の役割が重要！

北朝鮮が、「1サタルサイト」5月29日現在に掲載すると発表しました。北朝鮮が弾道ミサイルを9回目を発射しました。北朝鮮が弾道ミサイルを4月21日に、衛隊が地対空誘導弾「パトリオット PAC2」で迎撃しました。記者会見で、菅官房長官が「パトリオット PAC2」で迎撃を受けました。ミサイル攻撃を受けた際、身をを守るべき行動と地方自治体の役割を「国民保護ポ

弾道ミサイル落下時の行動について、弾道ミサイルは発射からわずか10分もしないうちに到達する可能性があります。ミサイルが日本に落下する可能性はある場合は、国からの緊急情報を瞬時に伝える「Jアラート」を活用して、防災行政無線で特別なサイレン音とともに緊急速報メール等により緊急情報を知らせます。

①速やかな避難行動 ②正確かつ迅速な情報収集を呼びかけますが、重要な問題が二点あります。
日本の重要な問題

一つは、菅官房長官の記者会見の意味は、弾道ミサイルが日本に向けて発射された場合は、現在の装備では、撃ち落とせないことを正直に認めたいことです。二つ目は、国民保護法では、ミサイル危機の対応は地方自治体の責務であり、自衛隊で

メッセージが流れたら、直ちに以下の行動をとってください

【屋外にいる場合】
近くのできるだけ頑丈な建物や地下に避難する。近くに適当な建物がない場合は、物陰に身を隠すか地面に伏せ頭部を守る。
【屋内にいる場合】
できるだけ窓から離れ、できれば窓のない部屋へ移動する。

～行政からの指示に従って、落ち着いた行動してください～

はありませぬ。自衛隊の隊員はほぼ全員が防衛出動し、市民の保護活動は、消防や警察等の責務です。横浜市は平成18年に「横浜市国民保護計画」を策定しましたが、ミサイル危機について取り組みは行われていません。特に武力攻撃や生物化学兵器が使用された場合、医療機器の整備の対応ができていません。北朝鮮によるミサイル攻撃が現実味を帯びており、国民を守るための自衛隊の存在や役割を憲法に明記することが絶対に必要です。横浜市は緊急事態を受けて「広報よこはま」の6月号2面の下段に「弾道ミサイル落下時の行動について」を掲載しました。ぜひご覧ください。自分や家族の命を守るために、日ごろから備えましょう。